

北 陸 支 部 報

2021/8/13
第 16 号



「初めての手軽な3D写真測量」
(3年5月25・26日)



「ネットワーク型RTK法による基準点測量」
(3年7月27日)

目 次

令和3年度北陸支部空間情報技術事例発表会	2
公共測量品質管理優秀賞2社を表彰	6
令和3年度北陸支部役員名簿	7
令和3年度北陸支部事業計画	8
行事等の報告	9
会員の増減状況	11



公益社団法人

日本測量協会

北陸支部



令和3年度 北陸支部空間情報技術事例発表会

7月13日に「令和3年度日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会」が金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、聴講者等約70名の中で行われました。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応ために中止となったことから2年ぶりの開催となりました。

冒頭の挨拶では、鹿田支部長から発表者の方には、本部が扱う空間情報技術事例報告集への投稿をオブリケーション（義務）としたいと挨拶があり、その後5名の発表者から、自身が体験した測量作業等について発表していただきました。各自発表時間15分、質疑応答5分という制約の中で、発表のまとめ方や質問等大変苦労されたことと思います。

発表後に審査結果までの間、北陸地方測量部から「公共測量における測量技術への取組」と題する講演が行われました。

その間、審査員は、別室にて発表者の発表内容について審査、得点集計、意見交換に移り入賞者の選考を行いました。

審査は、これまでと同様に①発表の着眼性、②まとめ具合、③発表資料の分かり易さ、④質疑応答に対する的確性、⑤時間の適正・話し方・態度の5項目による評価基準により行なわれました。

最優秀賞に（株）北日本ジオグラフィの中村誠さん、優秀賞に（株）国土開発センターの池本涼太さんが選ばれ、お二人に賞状と記念品が贈呈されました。

お忙しい中、発表者の皆さん、協力いただきました会社の皆さん、審査をして頂きました審査員の皆さん有り難うございました。

来年は福井県で2回目の開催を予定しておりますので、積極的な応募をお待ちしています。



支部長挨拶（空間情報技術事例発表会）鹿 田 正 昭

本日は日本測量協会北陸支部令和 3 年度空間情報技術事例発表会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございます。

昨年は Covid-19 による緊急事態宣言等を受け、事業報告会および空間情報技術事例発表会のいずれも中止となりました。

今年度もまだまだ感染症の拡散に注意しなければならない状況が続いています。With コロナの現状においては一般的である Web での開催を考慮しましたが、諸事情を考慮して、時間短縮と参加者限定の条件のもとに、対面で実施する運びとなりました。参加者におかれましては「密」を避けていただき、感染しない、感染させない、を念頭にご協力をお願いいたします。

空間情報技術事例発表会は、当協会が平成 26 年に公益社団法人に移行し、支部総会が業務報告会に変更になったことを契機に、支部活動の活性化および若い技術者の方々の研鑽の機会と会員法人の技術の向上、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿を促すことを目的として、各県での持ち回りで開始し、現在 2 巡目となっています。昨年度が中止になったことから、今年度も石川県での開催となりました。

発表会の開催にあたっては、支部役員、事務局および石川県測量設計業協会の方々には大変ご尽力をいただきました。衷心より感謝申し上げます。本日はこの趣旨に賛同して石川県内企業から 5 名の会員にご発表をいただくことになりました。発表者の方々にはそのご努力に深く敬意を表します。

お名前のご紹介を省略しますが、審査委員の皆様方にはよろしくをお願いいたします。

また、北陸地方測量部測量課長の堤隆司様にはご多忙のところ「公共測量における測量技術への取り組み」と題してご講演をいただきます。重ねて御礼申し上げます。

「空間情報技術事例発表会」は若手技術者の研鑽および北陸支部会員法人の技術力向上を目指しているものであり、多くの企業からの参加を期待しているところです。先ほども述べましたように、昨年を除く 5 年間で約 29 名の方にご発表いただきました。しかし、まだまだ発表者は少ないと感じています。

参加企業の技術力向上と社員の方々の研鑽・コミュニケーション能力向上、プレゼンテーション能力向上のために積極的に参加していただきたいと思います。

審査結果につきましては、講演会終了後、最優秀賞 1 件および優秀賞 1 件を発表する予定です。

なお、最優秀賞および優秀賞に選ばれた方には、本部が主催する「空間情報技術事例報告集」への投稿を義務としております。これは、「空間情報技術事例報告集」に採択されまると、協会がおこなう測量士資格の上位資格となる空間情報総括監理技術者試験の資格要件の「査読付き論文一編」としてカウントされることによります。

入賞者には投稿を義務としているところですが、ここでの発表で満足しておられる方が多いようで、過去の受賞者も含めて「空間情報技術事例報告集」に投稿されることを強く希望したいと思います。選に漏れた方々も自己研鑽のために積極的に投稿していただくことをお願いします。

それでは、時間を最小限にしながら、活発な質疑応答をお願いいたします。

空間情報技術事例発表会プログラム

◎挨拶

北陸支部長

鹿田正昭

◎発表

『UAVレーザーを用いた活用事例』

(株) 日本海コンサルタント 岩田光司

『災害対応における3次元計測とその利活用事例』

(株) 国土開発センター 池本涼太

『3次元計測の活用事例』

(株) 北日本ジオグラフィ 中村誠

『GISプログラム+提案による上水道施設データの効果的な管理体制の構築事例』

(株) 利水社 野竹信成

『三次元計測とデータ活用事例』

(株) 地域みらい 谷元祐太

◎講演

『公共測量における測量技術への取組』

北陸地方測量部

堤測量課長

◎審査員

- 審査員長 鹿田正昭（北陸支部長・金沢工業大学副学長）
- 審査員 伊藤純一（国土地理院北陸地方測量部長）
- 谷口雄一（北陸地方整備局金沢河川国道事務所 工事品質管理官）
- 木戸口善治（石川県土木部監理課技術管理室長）
- 竹俣一也（金沢工業大学教育支援機構教授）
- 飯村友三郎（日本測量協会理事 測量技術センター所長）



公共測量品質管理優秀賞 3 社を表彰



日本測量協会は、令和 2 年度に実施した公共測量成果（基準点測量、地図作成）の検定において、品質（品質管理）が特に優れていたと認められる作業機関（測量会社）35 社を 6 月 18 日発表しました。

「品質管理優秀賞」の表彰制度は、平成 17 年 4 月「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）」の施行を機に、測量成果の品質確保および測量会社の技術力向上につながることを期待し、当協会が創設したもので、今年が 17 回

目となります。

測量成果の検定については、国や地方公共団体等が発注する公共測量は、「公共測量作業規程の準則」の中で「高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で、計画機関が指定したものについては、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければならない。」と規定されています。これにより、公共測量として実施される大部分の測量作業の測量成果が検定の対象となります。

今年、北陸地区では、基準点測量部門において（株）新日本コンサルタント（富山市）様が 2 回目、丸一調査設計（株）（福井市）様が初受賞、（株）サンワコン（福井市）様が 6 回目の受賞となりました。

表彰式は、実施せず受賞の楯と副賞を各社へ出向いて贈呈しました。

令和 3 年度 北陸支部役員名簿

支 部 長	鹿 田 正 昭	金沢工業大学	副学長
副 支 部 長	山 岸 陽 一	(一社)新潟県測量設計業協会 (株) 山岸測量事務所	会 長 代表取締役社長
〃	市 森 友 明	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 新日本コンサルタント	会 長 代表取締役社長
幹 事 長	新 家 久 司	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 国土開発センター	会 長 代表取締役社長
幹 事	佐 治 力	(一社) 新潟県測量設計業協会 新潟県上越国土測量 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	吉 澤 隆	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) 長 測	副会長 代表取締役社長
〃	荒 井 隆 二	(一社) 新潟県測量設計業協会 荒井測量設計 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	寺 島 雅 峰	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 寺島コンサルタント	副会長 代表取締役社長
〃	金 木 春 男	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 上智	副会長 代表取締役社長
〃	黒 木 康 生	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 日本海コンサルタント	専務理事 代表取締役社長
〃	磯 野 秀 和	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 北日本ジオグラフィ	副会長 代表取締役社長
〃	中 西 誠 一 郎	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) 帝国コンサルタント	会 長 代表取締役社長
〃	毛 利 茂 則	(一社) 福井県測量設計業協会 ジビル調査設計 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	吉 田 直 人	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) 第一コンサルタンツ	専務理事 代表取締役社長

令和３年度 北陸支部事業計画

１．行事等実施計画

行 事 名 等	内 容	時 期	場 所
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（長岡会場）	４月	長岡市
北陸支部役員会	年２回の定例会議	５月 １２月	富山市
公共測量品質管理優秀賞表彰	測量成果の品質確保及び測量会社の技術力向上	７月	出向いて贈呈
北陸支部業務報告会	会員に対する北陸支部業務説明 年１回の定例報告会	７月	役員会で代える
（公社）日本測量協会北陸支部 空間情報技術事例発表会	空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報の共有化を図る	７月	金沢市
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（富山会場）	３月	富山市

２．支部主催講習会計画

講 習 会 名	開催予定	会 場
測量・地図の基礎講座 測量数学・誤差学の基礎（Ｗｅｂ）	４月２３日	新潟市（ＮＯＣプラザ）
路線測量・用地測量	４月２７日	富山市（市町村会館）
初めての手軽な３Ｄ写真測量	５月２５日～２６日	金沢市（地場産業センター）
公共測量のまとめ方	６月１８日	富山市（市町村会館）
ＵＡＶを用いた空中写真測量	６月２３日	富山市（市町村会館）
電子基準点のみを既知点とする基準点測量 及びＧＮＳＳ水準測量	７月１日	新潟市（ユニゾンプラザ）
ＵＡＶ取得データを用いた災害地の計測調査	７月８日	新潟市（ユニゾンプラザ）
ネットワーク型 RTK による基準点測量	７月２７日	金沢市（地場産業センター）
ＧＮＳＳによる基準点測量	８月１７日	福井市（国際交流会館）

T Sによる3・4級基準点測量	9月9日	新潟市（ユニゾンプラザ）
測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	10月1日	富山市（市町村会館）
U A Vを用いた災害対応（ビデオ講習） ＜会員無料＞	10月5日	新潟市（ユニゾンプラザ）
測量士答案練習セミナー（W e b）	3月1日～5日	新潟市（N O Cプラザ）
測量士補答案練習セミナー（W e b）	3月15日～18日	新潟市（N O Cプラザ）

参考：本部主催

講 習 会 名	開催予定日	会 場
基準点測量B課程（水準測量）実習無	5月17日～21日	富山市（市町村会館）
用地測量設計（1）w e b	8月24日～30日	富山市（市町村会館）
用地測量設計（2）w e b	9月13日～17日	富山市（市町村会館）

3. 会員サービス

- ① 基準点測量成果謄抄本交付申請代行事務
- ② 正会員に対する測量CPD登録代行事務（無料）
- ③ 特別会員に対する測量CPD学習履歴登録代行事務（有料）
- ④ 北陸支部報のウェブサイト刊行 年2回（7月及び1月）
- ⑤ メールマガジン「北陸支部通信」の配信 原則月1回
- ⑥ 当協会のウェブサイト「支部からのお知らせ」を活用し支部の情報提供を図る

行事等の報告

○支部役員会

事務局から新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため昨年に引き続き「北陸支部業務報告会」を役員会に代える事、7月13日に金沢市の石川県地場産業

振興センターでの「空間情報技術事例発表会実施及び「公共測量品質管理優秀賞」の表彰は、各社へ出向いて受賞の楯と副賞を贈呈する事等の内容を役員に説明し意見を伺いました。

また、令和3年度の研修計画及び行事等実施計画について説明を行いました。

また、北陸支部役員については、各県の（一社）県測量設計業協会役員の変更

が無かったことから、退任者、新たに選任する役員はいない事を報告しました。

○「とやま地図作品研究会」総会を開催

第15回とやま地図作品研究会総会を新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため幹事会を持って代えることにしました。

今年度の「とやまみんなの地図作品展」のスケジュールは、6月に県内小中学校に募集案内とチラシを配布し、9月の1ヶ月間作品を募集し、10月に審査を行い入賞作品を決定します。11月20日

～23日にファボーレ（富山市）で入賞作品の展示会を開催し、表彰式は展示会の最終日（23日）に同会場で行うことにしています。

また、今年も最優秀作品を国土交通大臣賞・文部科学大臣賞候補作品に推せんし、その他の優秀作品については、全国児童生徒地図優秀作品展に出展します。

○「公共測量成果のまとめ方講習会」を開催

令和3年6月18日（金）に富山市の「富山県市町村会館」において『公共測量成果のまとめ方講習会』を開催しました。

公共測量成果の品質確保を図るために「公共測量作業規程の準則」及び「同基準点測量記載要領」を基に日本測量協会が行っている「公共測量成果の検定」業務結果を取りまとめた「公共測量成果検定における指摘事項事例集」

について事例等を示し、留意点等を実践的に解説したものです。

実務に伴う疑問点や質問等に直接会等する回答する時間もあり、普段の業務上の問題解決に大変参考になる内容となっております。

本講習会は、毎年行っており年度末には来年の開催場所をお知らせ致しますので、是非講習参加を検討ください。

○「UAV取得データを用いた災害地の計測調査講習会」を開催

令和3年7月8日（木）に新潟市の「新潟ユニゾンプラザ」において『UAV取得データを用いた災害地の計測調査講習会』を開催しました。

実際にUAVで取得されたデータを用いて、災害地の撮影ポイント及び留意点、UAV取得データを用いた計測とクラウド処理、災害地の計測調査事例などを実習して、新しい技術取得を目的としました。実習項目としては、
①UAVを用いた災害対応のメリット

②UAVを用いた災害地の撮影ポイント・留意点③UAV取得データを用いた災害地の計測（SfM処理）④空中三角測量と精度管理、数値化⑤三次元現状復元計算と精度管理⑥UAVによる災害地の計測調査事例演習取得データ等です。

講習生各自が実際にパソコンでデータ処理を体験する有意義な講習会となっています。

○「初めての手軽な3D写真測量」講習会開催

令和3年5月25日・26に金沢市の「地場産業振興センター」において、『初めての手軽な3D写真測量』講習会を開催しました。

市販のデジタルカメラを用いて実習形式で行い、ソフトウェアで画像処理することにより複数の航空写真から3Dモデルを作成するまでの技術的な基本要素となる「デジタル写

真測量技術」に関して実際にデジタルカメラのキャリブレーションから撮影、3D写真モデル作成に至るまでを学習しました。受講者からは「写真測量の基礎から画像データの処理まで一連の流れが理解できた。」との感想が寄せられています。

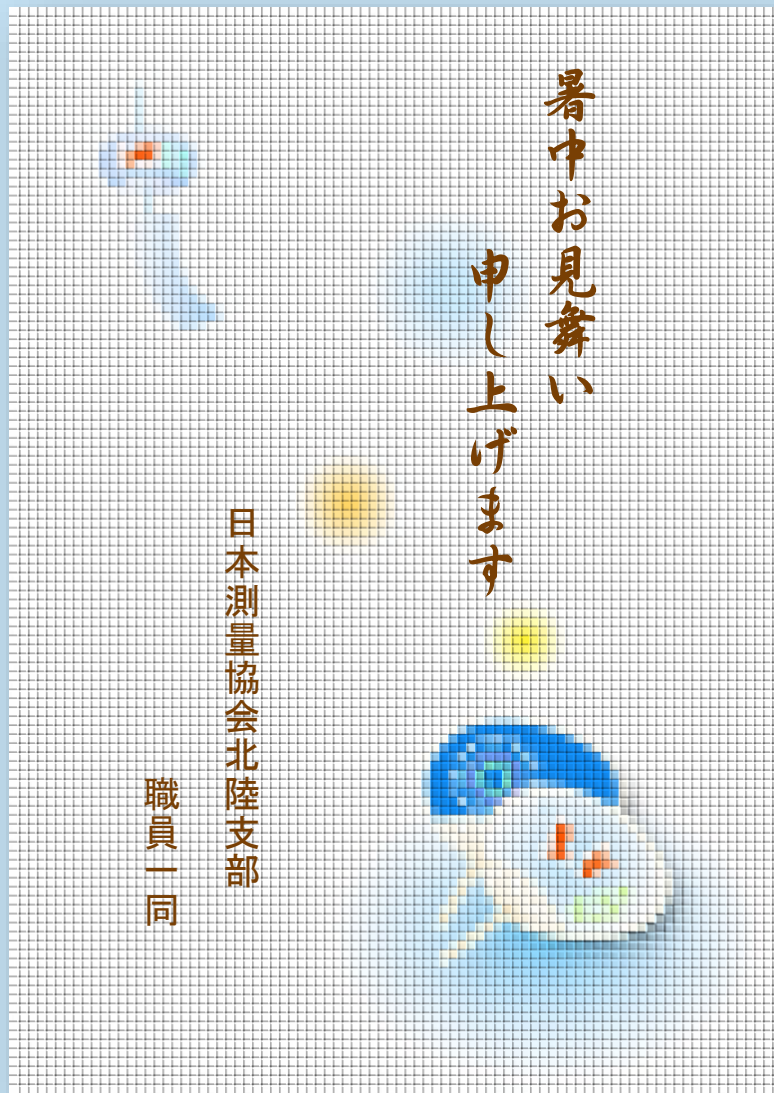
会員の増減状況

会員種別	R2. 7. 31 現在	R3. 7. 31 現在	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	5 5 9	5 6 2	+ 3	2 6 5 (+ 1)	1 0 7 (- 2)	1 3 7 (+ 6)	5 3 (- 2)
準 会 員	1	1	± 0	0 (± 0)	0 (± 0)	0 (± 0)	1 (± 0)
特別会員	1 7 3	1 7 5	+ 2	8 2 (± 0)	3 9 (+ 1)	3 4 (± 0)	2 0 (+ 1)
計	7 3 3	7 3 8	+ 5	3 4 7 (+ 1)	1 4 6 (- 1)	1 7 1 (+ 6)	7 4 (- 1)

測量CPD及び技術者継続教育証明制度(SUCCESS)の登録、更新を行いましょう。

日本測量協会の正会員が、過去最高の10,600人を突破しました。また、測量CPDの登録者も22,000人を越えています。

北陸支部においても正会員は、増加しており令和3年7月末で562名に達しています。



編集・発行 公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

○ 事務局 ・ TEL 076 (422) 3305 ・ FAX 076 (422) 3403

E-mail hokuriku@jsurvey.jp

○ 技術センター ・ TEL 076 (421) 5445 ・ FAX 076 (422) 3403

E-mail hokuriku@geo.or.jp

